

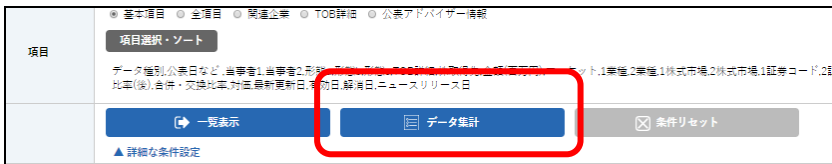
■使い方など ■『データベースで作る表・グラフの見本例』

レコフ M&A データベースの集計機能を利用して得られた数字を元に作成できる表・グラフの見本例と集計条件指定項目をご紹介します。

**マーケット別件数・金額**

① 検索条件の設定 【期間】 2017/01/01-2019/11/30 【データ種別】 M&A

② 「データ集計」をクリック



③ 表示される「検索結果を利用したデータ集計」で内容や単位を選択し集計。

ここでは ■集計内容－マーケット別 ■集計単位－件数 ■期間区分－年別

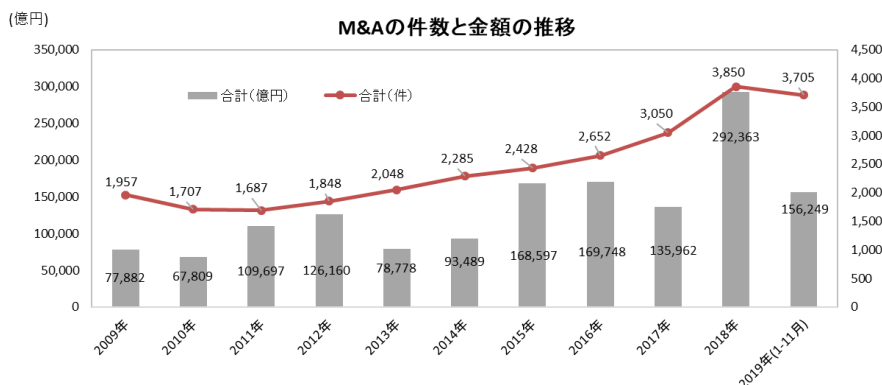


④ 集計表示ボタンをクリック

	IN-IN	IN-OUT	OUT-IN	合計 (件)
2017年	2,180	672	198	3,050
2018年	2,814	777	259	3,850
2019年(1-11月)	2,703	760	242	3,705
合計 (件)	7,697	2,209	699	10,605

	IN-IN	IN-OUT	OUT-IN	合計 (百万円)
2017年	2,319,275	7,669,469	3,607,475	13,596,219
2018年	2,925,669	18,276,709	8,033,958	29,236,336
2019年(1-11月)	4,655,406	9,628,742	1,340,719	15,624,867
合計 (百万円)	9,900,350	35,574,920	12,982,152	58,457,422

■応用グラフ例



## 日本企業に対する投資会社のM&A件数の推移

- ① 検索条件の設定【期間】2017/01/01-2019/11/30 【データ種別】M&A 【キーワード】投資会社(投資)に☑
- ② データ集計ボタンをクリックし、「検索結果を利用したデータ集計」で下記条件を設定後、集計表示ボタンをクリック

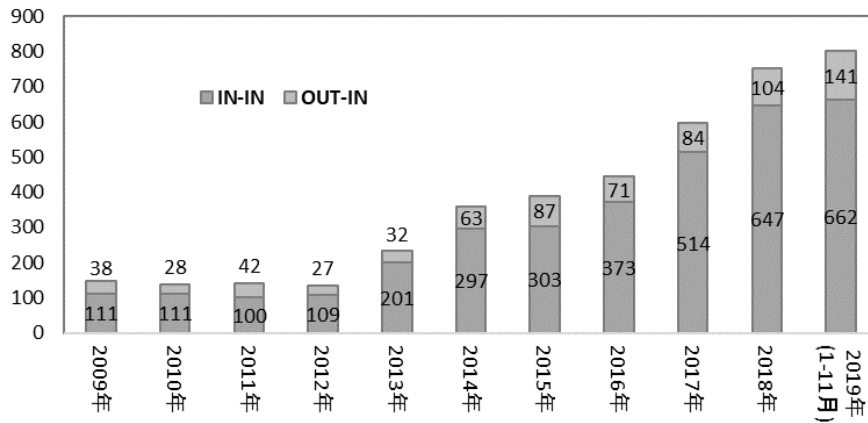
■集計内容—マーケット別 ■集計単位—件数 ■期間区分—年別

★集計結果では IN-OUT も表示されますが、日本企業に対する M&A なのでここでは IN-IN と OUT-IN の値を使います

	IN-IN	OUT-IN	合計 (件)
2017年	514	84	598
2018年	647	104	751
2019年(1-11月)	662	141	803
合計(件)	1,823	329	2,152

### ■応用グラフ例

日本企業に対する投資会社のM&A件数の推移



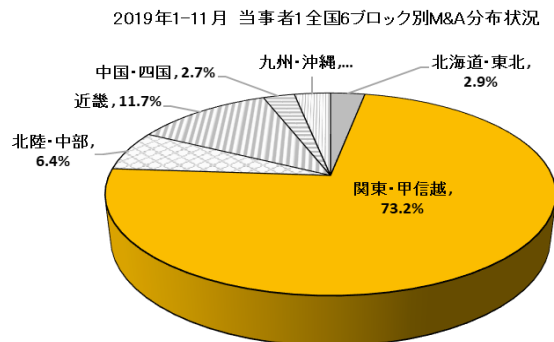
## 全国6ブロック別M&A分布状況 (当事者1)

- ① 検索条件の設定【期間】2019/01/01-2019/11/30 【データ種別】M&A
- ② データ集計ボタンをクリックし、「検索結果を利用したデータ集計」で下記条件を設定後、集計表示ボタンをクリック

■集計内容—当事者1都道府県別 ■集計単位—件数 ■期間区分—年別

↓エクスポートすると下記のようなになるので、エクセルの小計機能で地方別に集計。(海外法人、不明は除く)

地方	都道府県	2019年(1-11月)
北海道・東北	北海道	42
北海道・東北	青森県	2
北海道・東北	岩手県	7
北海道・東北	秋田県	3
北海道・東北	宮城県	20
北海道・東北	山形県	11
北海道・東北	福島県	11
関東・甲信越	茨城県	15
関東・甲信越	栃木県	14
関東・甲信越	群馬県	8
関東・甲信越	埼玉県	22
関東・甲信越	千葉県	23
関東・甲信越	東京都	2199
関東・甲信越	神奈川県	56
関東・甲信越	山梨県	5
関東・甲信越	長野県	15
関東・甲信越	新潟県	31
北陸・中部	富山県	16



当事者2のグラフを作成する場合、  
集計内容は「当事者2都道府県別」を選択